



GOVERNOR'S

MONTHLY LETTER 国際ロータリー第2830地区
2024-25年度 ガバナー月信

2
No.8



RI3330地区「水と衛生」グローバル補助金事業の視察・贈呈式
(2025.1.21~23/タイ・ナコンシータマラート)

Contents

- ・巻頭言
- ・今月のガバナーメッセージ
- ・速報 タイ3330地区へ水と衛生に関するグローバル補助金事業の現状視察と贈呈式

- ・GE壮行会開催報告
- ・映画「じょっぱり」看護の人 花田ミキ上映会開催報告①
- ・会員動向

国際ロータリー第2830地区事務所
〒030-0812 青森市堤町1丁目1-23 ホテル青森内
TEL.0173-732-2830/FAX.017-732-2831
E-MAIL rid2830@outlook.jp

巻頭言

弘前では過去最深の積雪量を記録するなど、県内では、津軽地方を中心に雪や除排雪の話題が挨拶代わりとなった1月が終わり、2月が始まりました。ロータリアンの皆様はいかがお過ごしでしょうか。

今回の原稿は、当地区のグローバル補助金でタイ3330地区への視察と贈呈式に向かうドムアン空港での待ち時間に書いています。今日の予想最高気温は33℃、青森とは30℃以上の気温差ある「微笑みの国」、タイに来ています。

1月の当地区におけるトップニュースは、1月19日にホテル青森で行われた、「100%勇気」に乗って登場した米谷恵司ガバナーエレクトの国際協議会壮行会を挙げるべきでしょう。(8頁)

今年は、2月9日から13日まで、アメリカフロリダ州オーランドで行われます。ありきたりですが、自分が国際協議会へ行って早くも1年が経つのだと思うと、大げさではなく感慨深いものがあります。今回からはRI会長独自のテーマが廃止されると聞いています。次年度の新たなテーマ発表のわくわく感がなくなるのは少し寂しいところですが、3年計画を中心とした中長期計画をRIがどのように打ち出し、それを受けて地区スローガンや重点事項を米谷エレクトがどのように組み立てていくのか、大変興味深く注視しています。

1月18日に弘前、19日には八戸で映画「じょっぱり 看護の人 花田ミキ」を上映することができました。弘前会場には五十嵐匠監督にもおいでいただき、ロータリアンだけでなく、一般の方にもたくさんご参加いただきました。私がガバナーノミニーのときに映画製作のクラウドファンディングに協力したという2年越しの企画でした。私自身も、はじめて映画本編を最初



から最後まで鑑賞することができました。1949年の八戸におけるポリオの集団発生への対処をはじめとして、戦前、戦後の激動の時代に青森が生んだ先駆的な女性、花田ミキさんの生き様を通じて、現代を生きる私たちのなすべきことに思いを巡らせるまたとない機会となりました。

同じ日の夜、五所川原の津軽鉄道「雪夜汽車」というイベントに参加しました。鹿児島地区大会でお目にかかったバイオリニストの大迫淳英さんの素晴らしい演奏を、灯りを消した冬のストーブ列車で堪能するという最高に贅沢な時間を過ごすことができました。その日は妻の誕生日でしたので、思い出に残る贈り物にもなりました。



1月の県内ニュース、豪雪以外では十和田市長選挙が大きく取り上げられました。ロータリーと政治に関して、ロータリー章典には、次の規定があります。「ロータリーの世界中の会員はさまざまな政治的見解を持つ個人であるため、ロータリーは、政治的テーマに関していかなる団体活動あるいは団体としての意見の表明も行わないものとする」。RIとその加盟クラブは、党派的政治声明を発表することを控えなければならず、ロータリアンも同様に、政府もしくは行政当局にいかなる団体的圧力をもかけてはならない」という規定もあります。DEI、ことに多様性を重視する考え方からすれば当然のことでしょう。

1月20日、アメリカではドナルド・トランプ氏が第47代大統領に就任しました。私たちは、トランプ政権に圧力をかけるような力を持ち合わせてはおりませんが、DEIが後退するような社会的風潮にはなってほしくありません。イスラエルとガザの停戦を実現し、ロシアとウクライナの戦争を終わらせるということができれば、それは素晴らしいことだと思っております。



今月のガバナーメッセージ

「クラブでの体験を魅力的なものにしよう」

ガバナー 花田 勝彦

今月は重点事項の4つめ、「クラブでの体験を魅力的なものにしよう」です。ステファニー・アーチックRI会長が「Irresistible」とよく使う言葉です。

昨年の国際協議会でこの話を聞いたとき、「抗えない魅力」というのはやや大げさな表現だな、と思ったところ、ロバート・パーマーの楽曲のタイトルだということを知りました。それはそれでいいのですが、ロータリー活動において、クラブでの体験を重視するという意味においては、「我が意を得たり」と感じたことを思い出します。

これまで、地区内の各クラブがどのような奉仕活動を実施しているのかについて、必ずしも十分な情報が発信されていませんでした。SNSが得意でないクラブでも、地方紙やロータリーの友に投稿する方法もありますが、ガバナー月信が十分な受け皿になっていなかったのではないかと、この思いもありました。他のクラブの活動を知って、自分のクラブと比較していいところ、足りないところを認識することは、非常にわかりやすいと思います。いいところを伸ばし、足りないところを補う。クラブの会長であれば他のクラブの情報が入ることも多いでしょうから、参考にすることはできても、自分の会長年度でそれを実現することは困難でしょう。

ただ、クラブの会長や理事でなくても、例会に臨む自分の気持ちと行動によって、魅力的なクラブはできていくと思います。一人一人のロータリアンの、最も身近なクラブメンバーへの思いやりの心と振る舞いが、クラブを魅力的なものへと変える第一歩なのだと思います。

皆さんが心に残るロータリーモーメントはどのような経験でしょうか。クラブでの経験を挙げる方は多いと思います。私自身、10年ほど前のある夜の例会後の懇親会で、今は他界された80代のメンバーが戦争当時のことを話してくれたこと、ロータリーは平和を目指すべきだとお話されたことが、大きな記憶として残っています。憲法の中にある日本の平和から、ロータリーを通じた世界の平和を体感した貴重な経験だったと思います。

仕事上、家庭における争いに携わることが多くあります。離婚や遺産分割といった紛争は、最も身近な家庭や親族間で生じるものです。その数が増え、皆さんの周りにもどちらかの(あるいはどちらも)経験をした方もいることと思います。このような紛争を予防するためにはどうしたらいいか。それは、夫婦財産契約や遺言を作成することではなく、最も身近な人へ思いやりを持った行動をすることだと思います。

ロータリーでも、最も身近なホームクラブの例会におけるメンバーへの思いやりが大切なのだと改めて感じます。そのような雰囲気を育むクラブは、インクルーシブな空気に満たされていて、メンバーが居心地良く感じるのだと思います。

DEI、帰属意識の次に来る会員増強の話は先月までにしましたが、これと同じことが魅力的なクラブ体験に言えることなのでしょう。自分一人からでもできるクラブでの思いやりある振る舞いを、少しでも意識して続けて行こうと思います。ご賛同いただける方は実践して見て下さい。

速報

タイ3330地区へ水と衛生に関する
グローバル補助金事業の現状視察と贈呈式 ガバナー 花田 勝彦



今回は、タイ第3330地区の南部ナコーンシータマラート県に赴き、実際にグローバル補助金(GG)を使って浄水器を設置したり、トイレを改修した学校と、現状が生徒たちにとって深刻な問題を抱えている学校、つまり、まだ浄水器が未設置だったり、トイレ設備が不十分な学校の両方を見学してきました。

毎年当地区の地区大会を訪れているウィチャイPG(2006-

地区内のロータリアンの皆さんは、当地区が、水の事業で、タイの地区に補助金を送っているということを聞いたことがある方は多いと思います。ただ、具体的にどのようなことにいくら使われているのか、ということになると、詳しいところまでは分からないという方が多いのではないのでしょうか。私もその一人でした。

07DG 上の写真右端)によれば、最初はGGで識字率の事業を3年くらい行い、その後に浄水器設置事業に移行し、現在に至っているそうです。これまで当地区のGGを利用して浄水器を設置した台数は64基だということです。

GGの申請についてはすでに十分な実績とノウハウが蓄積されています。RIの7つの重点事項「水と衛生」に関する事業ですので、近年は、浄水器を設置した学校にトイレや手洗い場といった衛生設備が不十分であればトイレ等の増設、改修も実施しています。当地区の地区大会で、毎年のようにウィチャイPGがパワーポイントで説明してくれているのですが、百聞は一見に如かずとはまさにこのことです。

さて、今回設置済の3校は、幼稚園から高校までの生徒のいる学校でした。特に幼稚園児や小学生が日本とタイの小旗を振って歓迎





してくれる様子を目の当たりにすると、改めてこの子供たちに役立つ事業をしているのだな、という実感が湧いてきます。学校の生徒だけでなく、教職員やPTA等の学校関係者、地元のロータリアン、地域住民の方々に至るまで、贈呈式には多くの方が参加し、感謝の言葉を述べてくれます。子供たちの歌や踊りで歓迎してくれる学校もあります。また、贈呈式の席に着くと必ず出てくるのが果物、お



菓子、コーヒー、水、そして椰子の実のジュース等です。

学校長、地元のロータリークラブの会長、地区財団委員長の挨拶の後、ウィチャイさんの事業目的と成果に関するプレゼンもあります。ここで秀逸なのは、生徒3名の実行委員(右下の写真、水色の防護服を着ている生徒)を選任して、主体的に設備の維持管理を学び、実行させることや、近隣住民に廉価で水を販売して、得られた収益によってフィルター等



の消耗品を交換するという持続可能性を意識した事業となっていることです。

私は当地区を代表して、お礼の言葉を述べます。私たちが日本の本州最北端の青森から来たこと、冬は寒く、雪がたくさん降ること、雪は水に変わるからこそ、私たちは水の大切さを知っていること、日本のトイレの清潔さは世界一であること、長い時間をかけて地区の友好関係を深めて、こうしてタイの生徒をはじめとして、皆さんのお役に立てることが私たちにとっても幸せであることをお話ししました。

私たちの地区の先輩たちが維持発展させてきたこの事業の有用性は変わりありませんが、まだ道半ばであるという感も強くいたしました。ポリオ根絶活動にも似たようなことがいえるのかも知れませんが、だいぶ長い間続けてきたのだからもういいだろう、というマンネリ化を感じる方もいるかと思います。今回も現地に赴いて実際の現場を見ると、それまでの漠然とした考えから、私たちの実施している事業がいかに重要で、まだ達成前であり、多くの人びとの役に立っているのかを



明確に実感できるようになります。現地に赴いた私たちは地区内の皆さんにこのことを発信すべきであり、思いを共有すべきだと思います。

今回最も感じたのは、GGの現地パートナーの誠実さ、ひたむきさがこの事業の原動力になっているのだということでした。私たちもそれに応え、友情を育み、思いを一つにしていくことが必要だと思います。

ナコンシータマラートからバンコクに戻って、羽田行きの便に乗る前に、3330地区のジャ

クチャイDG、以下クワンチャイPG、パイキットPGほか数名が、最後の夕食をともにしてくれました。私たちはここでも友情を再確認し、帰国の途に着きました。

今回の日程をセットしてくれた佐藤健一財団委員長に感謝申し上げます。そして、同行してくれた工藤武重PG、成田秀治PG、須藤朗GG委員長、成田和代五所川原イヴニングRC会長もありがとうございました。是非色々なところで今回の体験をお話下さることを期待しております。



詳細は3月号に須藤朗グローバル補助金委員長、成田和代五所川原イヴニングRC会長(地区公共イメージ向上委員)から報告がありますので、お楽しみに!!



ロータリー特別月間

「平和構築と紛争予防月間」

ガバナー 花田 勝彦

昨年はロシアとウクライナの戦争が続
き、イスラエルとハマスのガザ地区で
の紛争が日本でも大きなニュースとして取り
上げられる日が多かったと思います。

ガザでの紛争でショッキングだったのは、
9月に25年ぶりにこの地区でポリオの発症が
あったというニュースが流れたことでした。
後日、天然のウイルスではなく、ワクチン由
来であった旨の発表がありました。衛生状
態が悪化することにより、ワクチン由来のポ
リオも発症する確率が上がってくるという
ことが分かりました。

どちらも日本から遠いところで起こって
いる戦争や紛争ですから、あまり身近な問題
として捉えることはしにくいかも知れません。
昨年来パキスタン、台湾、タイへ渡航する機
会があり、現地に足を運ぶことで強く印象
に残るという経験をしました。これらの渡航が
いずれも地区ガバナーとしてであり、観光旅
行ではない目的を持っていたからということ
もあるかも知れません。

とはいえ、実際に戦争や紛争が行われて
いる地に行くことはできません(パキスタンは
それに近いものはありましたが)。どうした
ら自分のこととして考えたり、強い関心を持
つことができるでしょうか。新聞やインター
ネットニュースといった活字媒体からより
も、写真、さらには動画による現地の模様
が強く印象に残ることは事実でしょう。気
をつけなければならないのは、客観的に見
える動画であっても、製作者の意図が隠さ
れている場合です。動画の場合、どこをど
のように区切るのか、という編集一つをと
っても、視聴者をミスリードする危険があ
ります。印象が強い分だけ、これを操作す
ることも重大な問

題となります。私たちは限られた時間で情
報を得る必要がありますので、専門分野で
ない限り、全ての前提を疑って報道に接す
ことは無理があります。国際社会に関する
問題は、中でも「人ごと感」が強い訳です
から、手っ取り早い情報の必要性は高い
のですが、できれば情報を批判的に検討
する歴史的な知識は持ち合わせておき
たいものです。

恐らくそのための最も近道は、その国
に行くこと、渡航の前後にその国や地域
の基本的な歴史を学ぶことだと思います。

私たちは、ロータリー活動を通じて、
世界のつながりを持つことができます。世
界中に友人をもつことも可能です。その
ような信頼できる友人が現地にいれば、
信用できる生の情報に接することや、
現地ではどの程度大変な状態なのかを
知ることができます。

このようなアンテナを張り巡らせる
ことで、少しでも身近な問題として捉
えることができるようになります。英語
を学び、使うことにより、そのアン
テナの感度は格段に高いものとなる
でしょう。それは渡航するたびに
いつも思うことです。

2月25日、トルコ・イスタンブール
で、ステファニー・アーチックRI会
長主催の平和に関する会議が開催さ
れ、バーチェシェヒル大学に新
たな平和フェローが誕生します。
実際の参加は難しくとも、でき
ればMy Rotary等で情報は
チェックしてみてください。

クラブ会長の皆さんにおかれま
しては、今月のテーマ「平和構築
と紛争予防月間」を例会等でど
のように取り上げるのか、頭を
悩ませることと思います。工夫
した取り組みについて、是非
地区への情報発信をお願いします。

GE国際協議会出席壮行会開催報告

壮行会実行委員長 中山 佳
(五所川原RC)

2025-26年度国際ロータリー第2830地区ガバナーエレクトである米谷恵司氏の「国際協議会壮行会」が、1月19日ホテル青森にて開催されました。本会は、地区内クラブの会長エレクトと次年度幹事、パストガバナー、地区役員等が一堂に会し、米谷ガバナーエレクトの門出を祝うとともに、その熱意と決意を共有する貴重な機会となりました。

花田ガバナーの先導のもと、米谷ガバナーエレクトが「勇気100%」の曲で入場。会場は笑顔いっぱいになりました。

米谷ガバナーエレクトからは、ロータリーの理念に基づき、地区の発展と奉仕活動の充実に向けた力強い決意が表明されました。参加者はその言葉に深く共感し、次年度に向けた意識を新たにする機会となりました。

また、本壮行会を通じて、国際協議会の意義やガバナーの役割についての理解が深まり、地区内の結束が一層強まる場となりました。これからの米谷ガバナーエレクトの活躍を心から応援し、地区全体で支えていく決意を新たにしました。

本会の開催にあたり、ご尽力いただいた関係者の皆様に深く感謝申し上げます。





五所川原RC 会長エレクト 佐藤 昭義
(五所川原RC)

米谷ガバナーエレクト国際協議会出席壮行会が青森市の『ホテル青森』にて1月19日(日)に開催されました。

この壮行会は2月9日からオランダで行われる、国際協議会に参加される米谷ガバナーエレクトのご活躍を祈念して行われました。パストガバナー、パートナーをはじめ多くの方々にご参加いただき、大変盛大な会になりました。

私も五所川原ロータリークラブ会長エレクトとして出席し、7月から新しい年度が始まる米谷ガバナーエレクトと共に、より良いスタートを切る為にしっかりと準備が必要と実感した壮行会となりました。



花田Gから米谷GEへ補助金の贈呈



米谷GEから次年度ガバナー補佐の紹介



ポリオプラスソサエティの表彰



沼田次期LFから米谷GEへの激励の言葉



最上次期幹事長から次年度幹事会の紹介



最後は「手に手つないで」でお開きとなりました。

映画「じょっぱり」看護の人 花田ミキ 上映会の報告 ①

ポリオプラス委員会 委員長 成田 俊介
(弘前西RC)



令和7年1月18日(出)に弘前市民文化交流館(ヒロロ4F)で、映画「じょっぱり」の無料上映会を開催しました。主人公の花田ミキさんは弘前市出身で、八戸日赤病院の看護師として働かれていた昭和24年に大流行した当時は治療法が確立されていなかったポリオの治療に尽力された実在の看護師です。

大雪の中、監督・脚本をされた青森県出身の映画監督 五十嵐匠様に来ていただき、220人が観覧の限界でしたが、一般市民・インターアクターなどのロータリーファミリーとロータリアン240人がご来場なさり、立ち見の方もおられてとても盛況に開催できました。

上映の後は花田ガバナーと五十嵐匠さんの

トークショーが開催されましたが、会場撤収の時間ぎりぎりまで撮影の裏話など監督で無ければわからないことを拝聴する事が出来ました。

一般市民がご来場するに当たり地区のロータリー活動などを公共イメージ向上委員会・DEI推進委員会・ポリオプラス委員会が展示を行い、Rotaryのイメージアップが出来たと思います。

最後に会場の設営や撤収に参加いただいた聖愛高校IACの皆さんや地区委員の皆様、自分が所属する弘前西RCや他クラブの皆様にご協力いただき有り難うございました。



Rotary District 2830 **無料上映会** 申し込み不要

伝説の看護の人 花田ミキ 看護に命をかけた波乱万丈の生きざま

弘前会場 2025年1月18日(土) 14:30開演 (開場14:00)
先着 150名様
●会場 弘前市民文化交流館ホール4F
TEL.0172-35-0154

八戸会場 2025年1月19日(日) 14:30開演 (開場14:00)
先着 300名様
●会場 SG GROUP本-はちのへ 八戸市公民館ホール
TEL.0178-45-1511

主催 国際ロータリー第2830地区
DEI推進委員会 / ポリオプラス委員会

お問い合わせ
国際ロータリー第2830地区 地区事務所 TEL.017-732-2830

監修・脚本 五十嵐 匠
CAST 木野 花(19)
王林(19.3)
伊勢 穂香(20.1)・(20.2)

制作 ストリーミングサービス
制作/ディストリビューション 株式会社ポロプラス
制作/監修 株式会社ポロプラス
制作/監修 株式会社ポロプラス
制作/監修 株式会社ポロプラス

制作 日本赤十字社・日本看護協会



会員動向

【入会者】



山口 一仁
(弘前)
12月9日入会



石鉢 康範
(弘前)
12月9日入会



大西 康仁
(弘前西)
12月23日入会



天間 財子
(八戸南)
12月5日入会



【退会者】

クラブ名	氏名	退会日
おいらせ	川口 とく	12月25日
つがる	福田 隆文	12月31日
弘前	木村 宏	12月1日
弘前	鳴海 匠悦	12月31日
弘前東	大高 弘幸	12月31日
八戸北	平野 榮子	12月31日
八戸南 (八戸南さくらエイト R 衛星)	品田千賀子	12月31日
八戸南 (八戸南さくらエイト R 衛星)	伊藤 雅子	12月31日
八戸中央	中山かおる	12月31日

【ロータリー財団寄付】



小館 多哥志
(青森)
PHF+4



森内 忠良
(青森)
PHF+2



櫛引 淳治
(青森)
PHF+1



鳴海 孝仁
(青森北東)
PHF+2



米谷 恵司
(青森モーニング)
PHF+2



三上 大介
(八戸北)
PHF



中山 恵美子
(八戸北)
PHF+1



千葉 哲也
(八戸北)
PHF



山内 一晃
(八戸北)
PHF+3



山村 益広
(八戸中央)
PHF+2



【米山記念奨学会寄付】

<米山功勞者>



桑田 秀美
(青森)
第2回
マルチプル



蒔苗 亜希子
(青森北東)
第2回
マルチプル



鈴木 慶勝
(青森北東)
第10回
メジャートナー



上野 浩之
(青森北東)
第1回



鈴木 唯司
(青森モーニング)
第3回
マルチプル



本堂 きみゑ
(青森モーニング)
第1回



<米山功労クラブ>

青森ロータリークラブ 第24回

八戸南ロータリークラブ 第20回

五所川原ロータリークラブ 第12回

弘前ロータリークラブ 第22回

青森北東ロータリークラブ 第24回



2024年12月会員数の増減及び出席率表

グループ	クラブ名	例会数	出席率 %	正会員数								My Rotary 登録率 %
				前月末 会員数	入会	退会	12月末 会員数	女性 会員数	期首 会員数	入会 累計	退会 累計	
東第一グループ	むつ (うち、むつ大畑)	4	100.00	51 (9)	0 (0)	0 (0)	51 (9)	3 (1)	50 (9)	2 (1)	1 (1)	27.45
	野辺地	4	88.64	13	0	0	13	2	13	0	0	100.00
	七戸	3	69.55	12	0	0	12	2	11	1	0	16.67
	東北	3	72.90	16	0	0	16	2	16	0	0	81.25
	むつ中央	3	71.00	20	0	0	20	0	20	0	0	15.00
	六ヶ所	3	60.00	38	0	0	38	1	32	7	1	26.32
	小計				150	0	0	150	10	142	10	2
東第二グループ	三沢	4	64.29	23	0	0	23	1	23	0	0	39.13
	十和田	4	73.00	35	0	0	35	10	34	1	0	28.57
	十和田東	4	41.70	28	0	0	28	4	25	3	0	53.57
	おいらせ	3	78.00	7	0	1	6	0	6	1	1	50.00
	三沢東	3	71.10	35	0	0	35	4	34	1	0	31.43
	十和田八甲	3	65.67	84	0	0	84	1	80	5	1	39.29
	小計				212	0	1	211	20	202	11	2
西第一グループ	五所川原	4	66.50	58	0	0	58	6	52	6	0	70.69
	金木	4	76.00	12	0	0	12	1	12	0	0	8.33
	鱒ヶ沢	2	73.50	17	0	0	17	2	16	1	0	35.29
	鶴田	2	87.50	8	0	0	8	1	8	0	0	37.50
	五所川原中央	3	60.00	25	0	0	25	2	25	0	0	44.00
	つがる	4	68.90	33	0	1	32	0	30	4	2	34.38
	五所川原イヴニング	2	44.00	25	0	0	25	7	25	0	0	56.00
	小計				178	0	1	177	19	168	11	2
西第二グループ	弘前	3	56.70	48	2	2	48	3	45	6	3	52.08
	弘前東 (うち、弘前東桜華)	2	64.30	12 (4)	0 (0)	1 (0)	11 (4)	4 (2)	13 (5)	0 (0)	2 (1)	45.45
	板柳	3	93.00	10	0	0	10	0	10	0	0	40.00
	黒石	3	86.00	23	0	0	23	3	20	3	0	47.83
	大鰐	3	60.00	9	0	0	9	0	9	0	0	33.33
	弘前西	2	100.00	32	1	0	33	6	30	3	0	60.61
	平賀・尾上	2	61.10	9	0	0	9	0	9	0	0	33.33
	弘前アップル	2	100.00	15	0	0	15	2	16	0	1	73.33
小計				158	3	3	158	18	152	12	6	
中グループ	青森	3	61.20	107	0	0	107	9	105	6	4	100.00
	青森北東	2	78.60	22	0	0	22	3	22	0	0	68.18
	青森中央	2	100.00	6	0	0	6	1	6	0	0	33.33
	青森モーニング	2	59.40	19	0	0	19	4	21	0	2	63.16
	小計				154	0	0	154	17	154	6	6
南グループ	八戸	4	72.90	65	0	0	65	0	65	1	1	40.63
	八戸東	3	100.00	47	0	0	47	0	46	1	0	55.32
	三戸	2	100.00	9	0	0	9	1	9	0	0	88.89
	五戸	3	86.10	12	0	0	12	1	12	0	0	50.00
	南部	3	85.10	9	0	0	9	0	9	0	0	44.44
	八戸北	4	66.70	39	0	1	38	7	38	1	1	52.63
	八戸南 (うち、八戸南さくらエイト)	3	78.40	42 (11)	1 (0)	2 (2)	41 (9)	11 (9)	39 (11)	5 (0)	3 (2)	92.68
	八戸中央	4	56.30	19	0	1	18	4	20	0	2	44.44
	八戸西	3	51.00	34	0	0	34	20	33	1	0	47.06
小計				276	1	4	273	44	271	9	7	
合計 40RC				1,128	4	9	1,123	128	1,099	59	25	52.63

※ () 内は衛星クラブの会員数です

期首会員数は2024年6月末会員数です
7月1日の会員数は1,098名です
12月末現在の入退会人数です

地区行事予定

2025年2月 平和構築と紛争予防月間

月 日	曜 日	内 容	会 場
1	(土)		
2	(日)	第1回全国IA委員長会議	ハイブリッド開催
3	(月)		
4	(火)		
5	(水)		
6	(木)		
7	(金)		
8	(土)	職業奉仕フォーラム	八戸パークホテル
9	(日)	ガバナーエレクト国際協議会（～13日）	米国フロリダ州オーランド
10	(月)		
11	(火)	建国記念の日	
12	(水)		
13	(木)		
14	(金)		
15	(土)		
16	(日)		
17	(月)		
18	(火)		
19	(水)		
20	(木)		
21	(金)		
22	(土)	南グループIM	八戸プラザホテル アーバンホール
23	(日)	天皇誕生日 諮問委員会（米谷GE国際協議会報告） 第4回RI委員会、第2回ファシリテーター研修会	ホテル青森 カクヒログループスーパーアリーナ
24	(月)	振替休日	
25	(火)		
26	(水)		
27	(木)		
28	(金)		



地区行事予定

2025年3月 水と衛生月間

月 日	曜 日	内 容	会 場
1	(土)	米山奨学生 修了証書授与式	ホテル青森
2	(日)	地区チームラーニングセミナー	リンクステーションホール青森/ホテル青森
3	(月)		
4	(火)		
5	(水)		
6	(木)		
7	(金)		
8	(土)		
9	(日)	第4回全国RYLA運営委員会及び地区RYLA委員長合同会議	ハイブリッド開催
10	(月)		
11	(火)		
12	(水)		
13	(木)		
14	(金)		
15	(土)		
16	(日)		
17	(月)		
18	(火)		
19	(水)		
20	(木)	春分の日	
21	(金)		
22	(土)	会長エレクト研修セミナー 東北多地区合同スプリングキャンプ(～24日) ※青少年交換	リンクステーションホール青森/ホテル青森 母畑温泉 八幡屋(福島県)
23	(日)	会長エレクト研修セミナー	リンクステーションホール青森
24	(月)		
25	(火)		
26	(水)		
27	(木)		
28	(金)		
29	(土)	中グループIM	ホテル青森
30	(日)		
31	(月)		

みなさんのロータリー活動をご紹介ください ~記事投稿のお願い~

皆さまのクラブの魅力的な奉仕活動を、ガバナー月信から発信してみませんか？

本年度の月信は、ロータリアンの皆さまにより一層身近な情報源の1つになるようにしたいと考えております。奉仕活動の規模は問いません。

記事(右記参照)は**毎月号募集**しており、文字と写真共に多め、あるいは写真が多めの記事でも結構です。SNSへの投稿が不慣れなクラブの方も、月信に投稿頂けます。

是非、みなさんの活動をご紹介させて下さい!!

(提出先は地区事務所まで、締め切りは毎月24日)



編集後記

2月になると、私が五所川原ロータリークラブに入会した時を思い出します。今からちょうど13年前(38歳)の事でした(入会日は2012年(平成24年)2月1日(水))。そもそも、私は東京で生まれ育ったので、2004年に五所川原に帰省するまで友人知人が当地におらず、家業と人付き合いに慣れるのに精一杯の毎日を送っていました。それからしばらくしてから、ある方からロータリーを勧められ入会することになります。当初はロータリーを仕事と割り切った目で見ておりましたが、現在に至るまでロータリーの「寛容」の心で私を受け入れ続けてくれたクラブが、私に様々な経験をする機会を与え、今日まで導いてくれたと思っています。今はロータリーについて一層の理解に努め、自らの殻を破るつもりで活動している中、前年度にガバナーからは地区委員会、今広樹地区副幹事長からは月信編集を手伝ってくれないか？ と声を掛けて頂いた時は迷うことなくお受けしました。

そのような私が所属している地区DEI推進委員会とは、他の地区委員会と密接に関わってDEIを推進させる委員会です。言い換えれば各クラブの皆さまのご協力がないとできない大変難しい事業と言えます。また、一人のロータリアンとして、自らのアンコンシャス・バイアス(無意識の偏見)を払拭する事は容易ではないと思いますが、私が13年掛けてロータリーを理解しようと続けてきた自身の試み(経験)に、この齢でちょっとした肉付け(ブラッシュアップ)の機会が与えられたというのはそれだけでも大変有難く、それがロータリーなら尚更嬉しいものです。

今後、私自身にこの経験がどのような影響を与えるかは分かりませんが、少なくとも「ロータリーの良さ」を知る機会としてDEIを理解して行こうと考えております。これが現在、私がロータリアンを続ける原動力の一つになっている事は間違いないと感じています。

ガバナー月信 編集後記担当 増田 卓也
(五所川原ロータリークラブ)